

番号	31 - 19	申請者	看護師 柄原 美映
<p><b>【審査申請課題】</b> 重症心身障害児が示す非言語的表現を手がかりとした 疼痛に対する取り組み</p>			
<p><b>【審査課題の概要】</b> A氏は人工呼吸器装着中の長期入院中の患者である。右鼠径部に腫瘍があり、定期的な計測にてやや増大を認めており、右腸骨外縁に新たなリンパ節転移が疑われている。本人は言語コミュニケーションが難しく、本人が表出する表情やしぐさで感情や思いを探っているが、痛みの要因を明確に把握できていない。介入する看護師もどうにか患者の思いを捉えようと模索しているが、A氏が非言語的表現で示す反応に対する受け取り方が異なり、患者の発するメッセージを的確に捉えられていないのではないかと感じた。そこで、患者の発するメッセージに着目し、意味づけをすることで、患者に対し共通認識を持った介入の検討を行う。</p>			
審査結果	承 認 ( 令和1年9月24日 )		